

リマの街並み



5日間の波乱のイキトス滞在を終え、リマに帰ってきました。ペルーの首都であるリマは人口約790万人の大都市で、スペイン植民地時代の古い文化と現代文明がせめぎ合う活気にあふれた街でした。今回の旅の目的はアマゾン探検だったのですが、せっかくなのでリマの旧市街・セントロにある建物を見に行くことにしました。



カテドラル。南米^{せいふくしゃ}をきつての征服者、フランシスコ・ピサロが1535年に自らの手で礎石を置いた古い建物で、中には「ピサロの遺体」とされるミイラが安置されています。



サン・フランシスコ教会。1546年から100年以上かけて建てられた古い建物です。



ペルー政庁。時間ごとに衛兵の交代式が行われます。



最高裁判所。歴史的な建造物はユネスコの世界遺産にも登録されています。



木製のバルコニーが特徴です。



もう一つの繁華街ミラフローレス地区。
海沿いのおしゃれな街と旧市街との違いに驚きました。



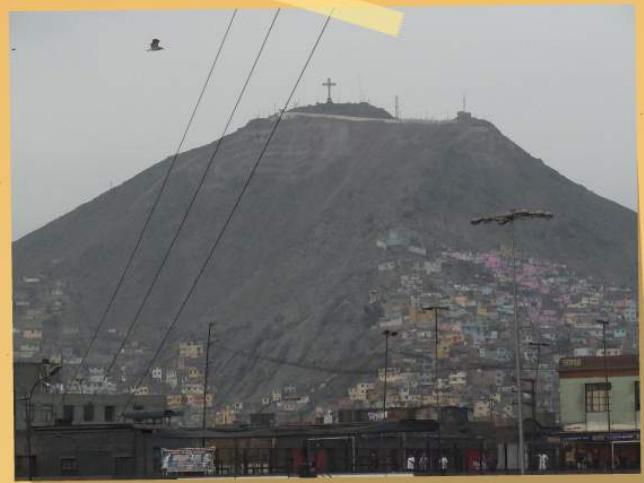
果物はイキトスでもリマでもたくさん売られていました。



久しぶりの現代文明に涙。「幸福」の2文字が目に染みました。



日本の古い小型自動車がタクシーとしてたくさん使われていました。少々の傷は気にもしません。交通マナーは「先に行ったもん勝ち」です。



サン・クリストバルの丘。治安が悪いので近づかないように言われました。



今回は出会えなかったアルパカのぬいぐるみと、行けなかったマチュピチュのポスター。
アマゾンとの掛け持ちは、体力に自信のある方ならお勧めします。

